

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年1月13日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期（自平成23年9月1日至平成23年11月30日）
【会社名】	株式会社大光
【英訳名】	OOMITSU CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金森 武
【本店の所在の場所】	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
【電話番号】	(0584)89-7777(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長兼総務部長 秋山 大介
【最寄りの連絡場所】	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
【電話番号】	(0584)89-7777(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長兼総務部長 秋山 大介
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期 連結累計期間	第61期
会計期間	自平成23年6月1日 至平成23年11月30日	自平成22年6月1日 至平成23年5月31日
売上高 (千円)	19,930,774	-
経常利益 (千円)	164,574	-
四半期(当期)純利益 (千円)	80,756	-
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	58,236	-
純資産額 (千円)	1,875,748	1,855,328
総資産額 (千円)	15,729,887	14,655,148
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	13.85	-
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	13.79	-
自己資本比率 (%)	11.9	12.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	249,886	-
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	392,788	-
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	587,699	-
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	434,335	-

回次	第62期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年9月1日 至平成23年11月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	10.29

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第61期につきましては、連結初年度であり、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、貸借対照表のみを連結しているため、連結貸借対照表項目のみを記載しております。また、第61期第2四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、第61期第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社の株式会社マリンドリカは、平成23年6月より営業を開始し、当社グループ（当社及び連結子会社）は水産品事業に進出しました。

この結果、平成23年11月30日現在では、当社グループは、当社及び連結子会社1社により構成されることとなり、外商事業、アミカ事業及び水産品事業の3事業を営むこととなりました。なお、当該3事業はセグメント情報における区分と同一であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

また、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しつつあるものの、欧州の債務問題をはじめとする海外経済の減速と長引く円高進行、株価下落など景気の先行きに不透明感が見られます。

当業界におきましても、個人消費の落ち込みからは回復傾向にあるものの、消費者の節約志向や低価格志向の継続等から、当社の販売先である外食産業は全体的に伸び悩みが続き、当社の販売拡大にとって大変厳しい経営環境が継続しております。

このような経営環境のなか、平成23年4月に第三者割当増資を引受け、株式会社マリンドリカ（東京都中央区）を子会社化し、当社が親会社となる新たなグループ体制で事業を推進してまいりました。また、平成23年8月に同社の株式を追加取得し、完全子会社化いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、外商事業における提案型営業の推進、アミカ事業における前期に開業した新規店舗の売上増加が寄与し、199億30百万円となりました。

利益面については、プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド（ジェフダ）の販売強化等、売上総利益の向上に努めるとともに、全社的な業務の効率化を図るために、経費削減プロジェクトを立ち上げ、コストの見直しを進めたため、営業利益は1億58百万円、経常利益は1億64百万円、四半期純利益は80百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（外商事業）

当事業におきましては、平成23年6月に青葉営業所（横浜市青葉区）を東京支店（東京都中央区）に格上げし、関東地区における営業部門の規模拡大、機能強化を図りました。

外商事業を取り巻く環境は依然として厳しいものの、重点得意先との取り組みにより物流業務を改善し、利益確保に努めるとともに、新規得意先の獲得、既存得意先の深耕を強化してまいりました。

この結果、外商事業の売上高は117億52百万円となり、営業損失は1億7百万円となりました。

（アミカ事業）

当事業におきましては、平成23年8月に大垣店（岐阜県大垣市）のリニューアルオープンを実施し、より快適にお買いものいただけるよう、売場や取扱商品の見直しを行いました。その他店舗におきましても、お客様にご支持いただける店舗づくりを目指して、プライベートブランド商品のご提案など、店内営業の強化に努めてまいりました。また、平成23年8月にオープンした24時間365日対応のアミカネットショップでは、会員数の増加に取り組み、アミカ店舗がない地域のお客様からもご利用いただいております。

この結果、アミカ事業の売上高は75億52百万円となり、営業利益は5億95百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として35店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、前期に連結子会社とした株式会社マリンデリカが平成23年6月より事業を開始いたしました。事業の開始から得意先の深耕を図り、販路の拡大を進めるとともに、当社グループの水産品ラインナップの強化に寄与しております。

この結果、水産品事業の売上高は6億25百万円となり、営業利益は33百万円となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が1億49百万円増加し、商品が6億99百万円増加したこと等により、流動資産は全体で9億95百万円増加しました。一方固定資産は、投資有価証券が1億20百万円増加したこと等により、全体で79百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して10億74百万円増加し、157億29百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が3億54百万円増加し、短期借入金が6億円増加したこと等により、流動負債は全体で10億66百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が29百万円減少したこと等により、全体で12百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して10億54百万円増加し、138億54百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が51百万円増加したこと等により、全体で20百万円増加し18億75百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは2億49百万円の支出となりました。これは、仕入債務の増加3億54百万円等の収入があったものの、たな卸資産の増加7億4百万円等の支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億92百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得1億56百万円及び投資有価証券の取得2億7百万円等の支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5億87百万円の収入となりました。これは、長期借入金の返済による支出8億85百万円等の支出があったものの、短期借入金の純増額6億円及び長期借入れによる収入10億円等によるものであります。

これらに為替換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、4億34百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,360,000
計	15,360,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年1月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,938,400	5,939,200	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	発行済株式は全て完全議決権株式かつ、権利内容に限定のない株式であります。単元株式数は100株であります。
計	5,938,400	5,939,200	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年1月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月1日～ 平成23年11月30日 (注)1	8,000	5,938,400	1,160	462,968	1,152	366,849

(注)1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 平成23年12月1日から平成23年12月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が800株、資本金が116千円、資本準備金が115千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

平成23年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
金森 武	岐阜県大垣市	1,460,000	24.58
金森 久	岐阜県大垣市	604,000	10.17
大光従業員持株会	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地	453,100	7.63
金森 智	東京都江東区	360,000	6.06
株式会社大垣共立銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行株式会社)	岐阜県大垣市郭町三丁目98番地 (東京都中央区晴海一丁目8番12号 晴海ア イランドトリトンスクエアオフィスタ ワーZ棟)	290,000	4.88
倭 雅美	岐阜県羽島市	156,000	2.62
株式会社トーカン	名古屋市熱田区川並町4番8号	120,000	2.02
川崎 光義	岐阜県大垣市	116,000	1.95
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町八丁目26番地	80,000	1.34
株式会社ニチレイフーズ	東京都中央区築地六丁目19番20号	60,000	1.01
計	-	3,699,100	62.29

(注) 当社は自己株式100,004株を所有しておりますが、上記の大株主から除いております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,837,900	58,379	-
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	5,938,400	-	-
総株主の議決権	-	58,379	-

【自己株式等】

平成23年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社大光	岐阜県大垣市浅草 二丁目66番地	100,000	-	100,000	1.68
計	-	100,000	-	100,000	1.68

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。
- (2) 前第2四半期連結累計期間（平成22年6月1日から平成22年11月30日まで）は四半期連結財務諸表を作成していないため、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書並びに四半期連結キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報は記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	839,323	784,335
受取手形及び売掛金	3,223,484	3,373,228
商品	1,729,554	2,428,609
貯蔵品	3,880	9,385
繰延税金資産	96,509	92,550
その他	571,254	766,061
貸倒引当金	28,604	23,539
流動資産合計	6,435,402	7,430,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,473,693	4,362,931
その他(純額)	961,248	995,576
有形固定資産合計	5,434,942	5,358,507
無形固定資産	49,920	59,676
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241,473	1,361,537
その他	1,560,476	1,586,772
貸倒引当金	67,067	67,238
投資その他の資産合計	2,734,883	2,881,071
固定資産合計	8,219,745	8,299,255
資産合計	14,655,148	15,729,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,896,723	4,251,256
短期借入金	2,000,000	2,600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,736,856	1,881,404
1年内償還予定の社債	100,000	-
未払法人税等	109,201	85,241
賞与引当金	141,074	144,338
ポイント引当金	21,280	23,514
その他	514,847	601,023
流動負債合計	8,519,982	9,586,777
固定負債		
長期借入金	3,677,069	3,647,394
退職給付引当金	158,382	166,577
役員退職慰労引当金	197,892	198,745
資産除去債務	228,912	227,747
その他	17,580	26,896
固定負債合計	4,279,837	4,267,360
負債合計	12,799,819	13,854,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,808	462,968
資本剰余金	365,697	366,849
利益剰余金	1,093,564	1,145,168
自己株式	33,901	33,901
株主資本合計	1,887,168	1,941,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,561	66,710
繰延ヘッジ損益	-	1,374
その他の包括利益累計額合計	38,561	65,335
少数株主持分	6,721	-
純資産合計	1,855,328	1,875,748
負債純資産合計	14,655,148	15,729,887

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	19,930,774
売上原価	15,835,490
売上総利益	4,095,284
販売費及び一般管理費	3,936,870
営業利益	158,413
営業外収益	
受取利息	5,585
受取配当金	4,628
受取賃貸料	17,924
その他	26,629
営業外収益合計	54,767
営業外費用	
支払利息	28,259
賃貸費用	16,009
その他	4,336
営業外費用合計	48,605
経常利益	164,574
特別利益	
投資有価証券売却益	23,827
負ののれん発生益	476
特別利益合計	24,304
特別損失	
固定資産除売却損	17,250
投資有価証券評価損	8,402
特別損失合計	25,653
税金等調整前四半期純利益	163,225
法人税、住民税及び事業税	72,359
法人税等調整額	5,784
法人税等合計	78,144
少数株主損益調整前四半期純利益	85,081
少数株主利益	4,325
四半期純利益	80,756

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	85,081
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	28,156
繰延ヘッジ損益	1,311
その他の包括利益合計	26,845
四半期包括利益	58,236
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	53,981
少数株主に係る四半期包括利益	4,254

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年6月1日
至平成23年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	163,225
減価償却費	256,857
のれん償却額	983
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,893
賞与引当金の増減額(は減少)	3,263
ポイント引当金の増減額(は減少)	2,234
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,194
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	853
受取利息及び受取配当金	10,213
支払利息及び社債利息	28,259
固定資産除売却損益(は益)	17,667
投資有価証券売却損益(は益)	23,827
投資有価証券評価損益(は益)	8,402
売上債権の増減額(は増加)	149,744
たな卸資産の増減額(は増加)	704,560
未収入金の増減額(は増加)	12,147
仕入債務の増減額(は減少)	354,533
未払金の増減額(は減少)	38,629
その他の流動資産の増減額(は増加)	181,669
未払消費税等の増減額(は減少)	17,150
その他	54,735
小計	132,065
利息及び配当金の受取額	5,886
利息の支払額	27,904
法人税等の支払額	95,802
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	156,641
無形固定資産の取得による支出	27,877
投資有価証券の取得による支出	207,996
関係会社株式の取得による支出	10,500
投資有価証券の売却による収入	37,027
投資有価証券の償還による収入	20,000
建設協力金の支払による支出	12,799
敷金及び保証金の差入による支出	30,342
敷金及び保証金の回収による収入	50
その他	3,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	392,788

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年6月1日
至平成23年11月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	600,000
長期借入れによる収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	885,127
社債の償還による支出	100,000
リース債務の返済による支出	578
株式の発行による収入	2,312
配当金の支払額	28,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	587,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	13
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	54,988
現金及び現金同等物の期首残高	489,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	434,335

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)															
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。															
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">給料手当</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1,142,471</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">144,338</td> <td></td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">32,280</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">2,853</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">23,514</td> <td></td> </tr> </table>	給料手当	1,142,471	千円	賞与引当金繰入額	144,338		退職給付費用	32,280		役員退職慰労引当金繰入額	2,853		ポイント引当金繰入額	23,514	
給料手当	1,142,471	千円													
賞与引当金繰入額	144,338														
退職給付費用	32,280														
役員退職慰労引当金繰入額	2,853														
ポイント引当金繰入額	23,514														

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)									
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年11月30日現在)									
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">現金及び預金勘定</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">784,335</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">350,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">434,335</td> <td></td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	784,335	千円	預入期間が3か月を超える定期預金	350,000		現金及び現金同等物	434,335	
現金及び預金勘定	784,335	千円							
預入期間が3か月を超える定期預金	350,000								
現金及び現金同等物	434,335								

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月24日 定時株主総会	普通株式	29,151		5 平成23年5月31日	平成23年8月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月28日 取締役会	普通株式	29,191		5 平成23年11月30日	平成24年2月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業 (注)3	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,752,899	7,552,551	625,324	19,930,774	-	19,930,774
セグメント間の内部売 上高又は振替高	104	8,796	92	8,993	8,993	-
計	11,753,003	7,561,348	625,416	19,939,768	8,993	19,930,774
セグメント利益又は 損失()	107,767	595,251	33,270	520,754	362,341	158,413

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 362,341千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 平成23年6月より、連結子会社の株式会社マリンドリカは事業を開始しました。これにより、新たに水産品事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	13円85銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益(千円)	80,756
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	80,756
普通株式の期中平均株式数(株)	5,830,789
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	13円79銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	26,353
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年12月28日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・29,191千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成24年2月9日

(注) 平成23年11月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年1月12日

株式会社 大光
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中浜 明光 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渋谷 英司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大光の平成23年6月1日から平成24年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大光及び連結子会社の平成23年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。